

平成29年2月3日

〔資料提供先〕 合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ、
三原新聞記者クラブ、尾道市記者クラブ、福山市政記者クラブ、府中市役所記者クラブ

一般国道2号 ^{まつなが}松永道路が
平成29年3月26日（日）に全線4車線で完成します！

一般国道2号松永道路の^{かむら}神村ランプ～^{いまづ}今津ランプ間（延長：2.5km）が平成29年
3月26日（日）に4車線化が完成することとなりましたのでお知らせします。

一般国道2号松永道路は、これまでに今津ランプ～^{にしせと おのみち}西瀬戸尾道IC間（延長：4.6km）
が4車線開通しており、今回の完成により全線4車線（延長：7.1km）となります。

については、当日完成式を開催いたします。完成式及び通行が可能となる時間につ
いては、詳細が決まり次第、あらためてお知らせします。

～今回の完成による主な効果～

整備効果1 渋滞の緩和

・ 上り方向で最大950m発生している渋滞の緩和が期待されます。

整備効果2 死傷事故件数の減少

・ 渋滞が緩和することにより死傷事故件数の減少が期待されます。

整備効果3 物流の効率化の支援

・ 福山港への輸出入コンテナ貨物の輸送時間短縮による物流の効率化が期待され
ます。

<お問い合わせ先>

○ 国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副 所 長 : ^{きしべ}岸部 ^{あきかず}明和

【事業全体・広報担当】 調査設計第二課長 : ^{おかもと}岡本 ^{しんじ}慎二

TEL : (084) 923-2510 (ダイヤルイン) FAX : (084) 923-2517

【工事担当】 工 務 課 長 : ^{いとう}伊藤 ^{ひとし}等

TEL : (084) 923-2627 (ダイヤルイン)

〒720-0031 広島県福山市三吉町4丁目4番13号

ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

詳細図

凡 例	
事業区間	開通済み区間 事業中区間
道 路	高速道路 一般有料道路
	直轄国道
	補助国道
	主要地方道
鉄 道	J R (新幹線)
	J R (在来線)
行政界	市町村境
車線数	1車線
	2車線
	4車線



計画概要

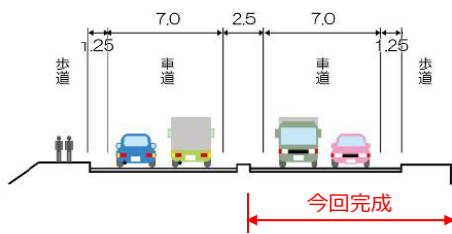
起 終 点	起点：広島県福山市神村町 終点：広島県尾道市高須町
計 画 延 長	延長7.1km
道 路 規 格	第3種第1級： 神村ランプ～今津ランプ 第1種第3級： 今津ランプ～西瀬戸尾道IC
設 計 速 度	80km/h
車 線 数	4車線

標準断面図

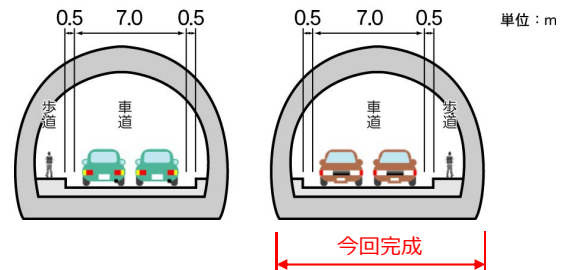
土工部

▼第3種第1級
(一般道路: 神村ランプ～今津ランプ)

単位：m



トンネル部



整備効果①：渋滞の緩和

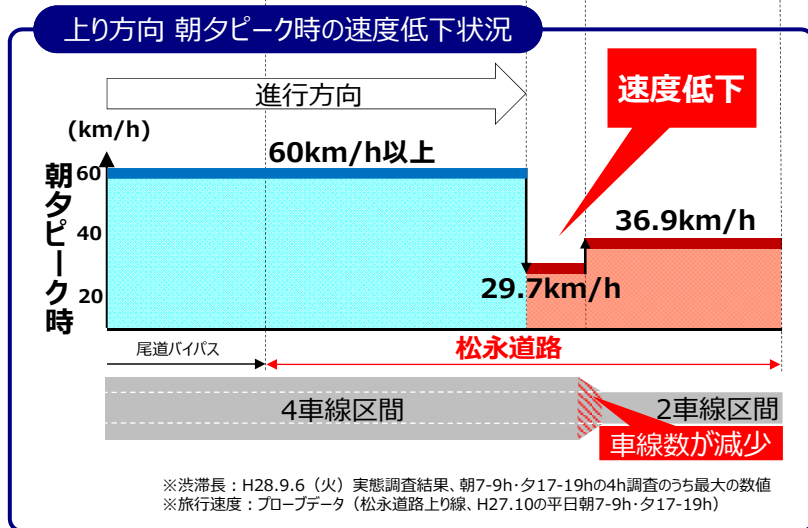
- ・松永道路の2車線区間において、上り方向で最大950m渋滞が発生しています。
- ・全線4車線完成により、渋滞が緩和され、スムーズな交通の確保が期待されます。



【写真①】4車線区間のスムーズな交通の流れ



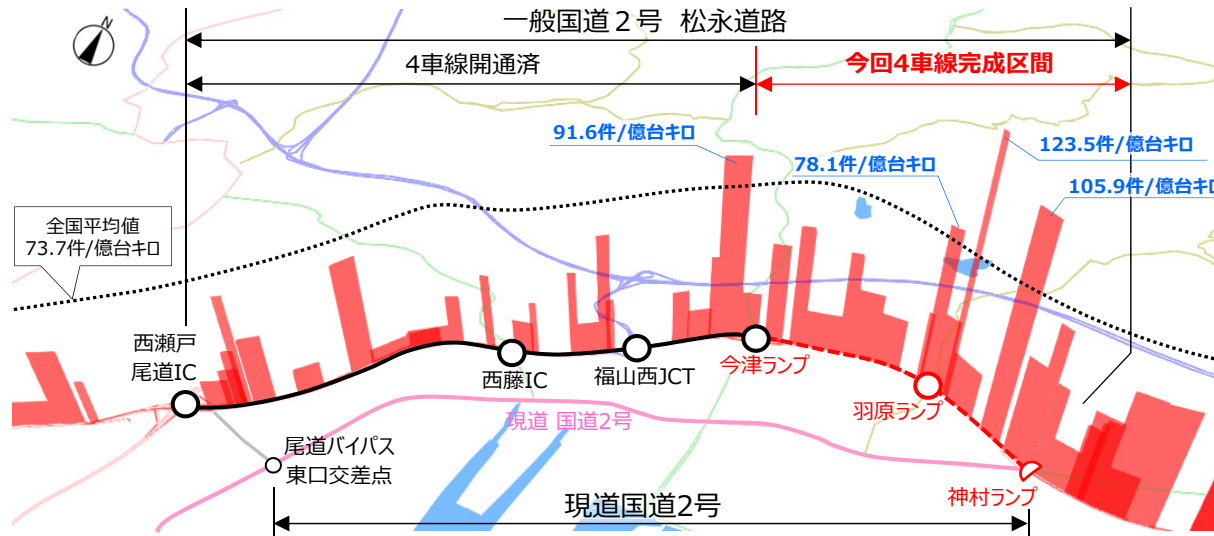
【写真②】一方、2車線区間では、上り方向で最大950mの渋滞が発生



整備効果②：死傷事故件数の減少

- ・松永道路の死傷事故率は全国平均よりも高い箇所が4箇所存在し、死傷事故は渋滞に起因した追突事故が約8割を占めています。
- ・全線4車線完成により、渋滞が緩和することで、松永道路の死傷事故件数の減少が期待されます。

松永道路の死傷事故率

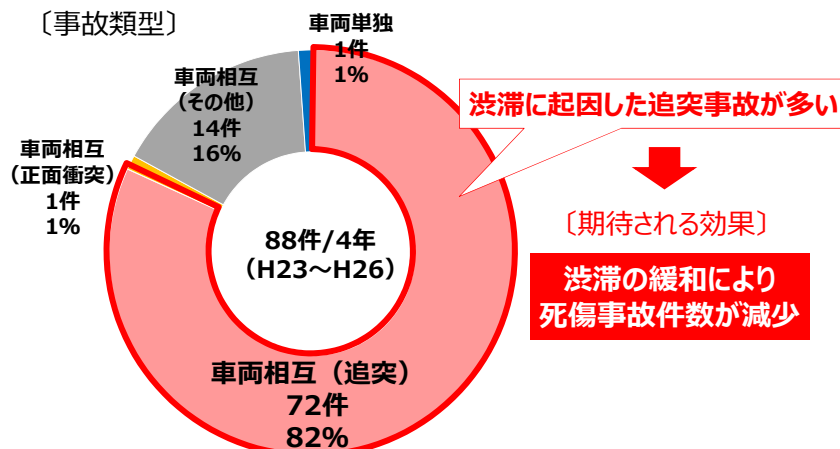


【凡例】

- 死傷事故率
- 死傷事故率（全国平均値：73.7件/億台キロ）
- ※H26年データ（交通事故総合分析センターより）

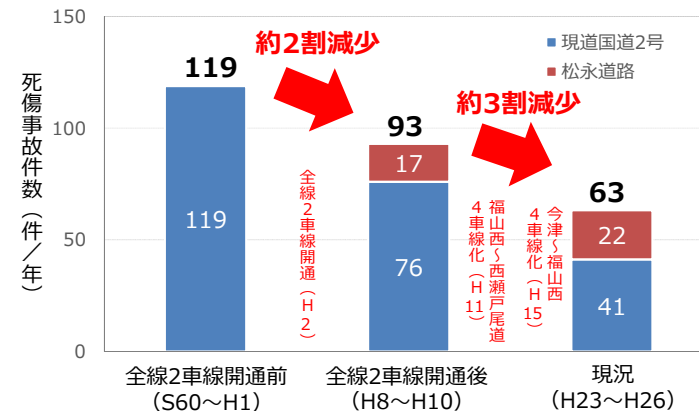
資料：交通事故・道路統合データベース（H23～H26）
※福山西JCT～西瀬戸尾道IC間は広島県警事故データ（H23～H26）

松永道路の死傷事故発生状況



資料：交通事故・道路統合データベース（H23～H26）
※福山西JCT～西瀬戸尾道IC間は広島県警事故データ（H23～H26）

〔参考〕松永道路と現道国道2号の年平均死傷事故件数の変化



資料：【全線2車線開通前】S63,H2道路交通センサス
【全線2車線開通後】交通事故統合データベース（H8～H10）
【現況】交通事故・道路統合データベース（H23～H26）
※福山西JCT～西瀬戸尾道IC間は広島県警事故データ（H23～H26）

整備効果③：物流の効率化の支援

- ・福山港のコンテナ取扱量における輸入量のうち約3割が福山市以西へ搬出、輸出品のうち約4割が福山市以西から搬入されています。
- ・当該区間の4車線完成により、更なる物流の効率化が期待されます。

